

(3) エリア別景観デザインについて

①エリア別空間づくりのコンセプト及び目指したい空間イメージ

国道1号線～草薙三角緑地までのエリアについては、「メインストリート」と位置付け、草薙らしい特色をもった景観形成を推進していきます。

さらにメインストリートを、周辺の開発動向やそのエリアの空間特性に応じて、5つのエリアに分け、それぞれ空間づくりのコンセプトを設定していきます。

1. 草薙北口通線 (国道1号線～草薙駅北口駅前広場入口まで)

2. 草薙駅北口駅前広場 (草薙駅北口駅前広場部分)

3. 草薙駅南口駅前広場 (草薙駅南口駅前広場部分)

4. 草薙駅通沿道 (草薙駅前交差点～草薙三角緑地まで)

5. 草薙駅南北自由通路 (JR 草薙駅南北自由通路部分)

<国道1号線～草薙駅北口駅前広場入口まで 約190m>

1. 草薙北口通線

道路の幅員に合わせ、豊かな緑と洗練されたデザインにより、連続的で開放的な、**地域の庭となるような道路空間**を形成し、交流機能をもたせた滞留空間を創出していきます。

2. 草薙駅北口駅前広場

北口駅前広場の新設や駅舎改築・沿道大規模オフィスの開発と合わせ、北口地域へのゲートとして**落ち着きある高質な空間**を形成します。

3. 草薙駅南口駅前広場

南口駅前広場の整備や駅舎改築・南口再開発事業等と合わせ、商店街や南口地域へつながる場所として、**賑わいを創出し人々が集い楽しめる空間**を形成します。

<草薙駅前交差点～草薙三角緑地 約385m>

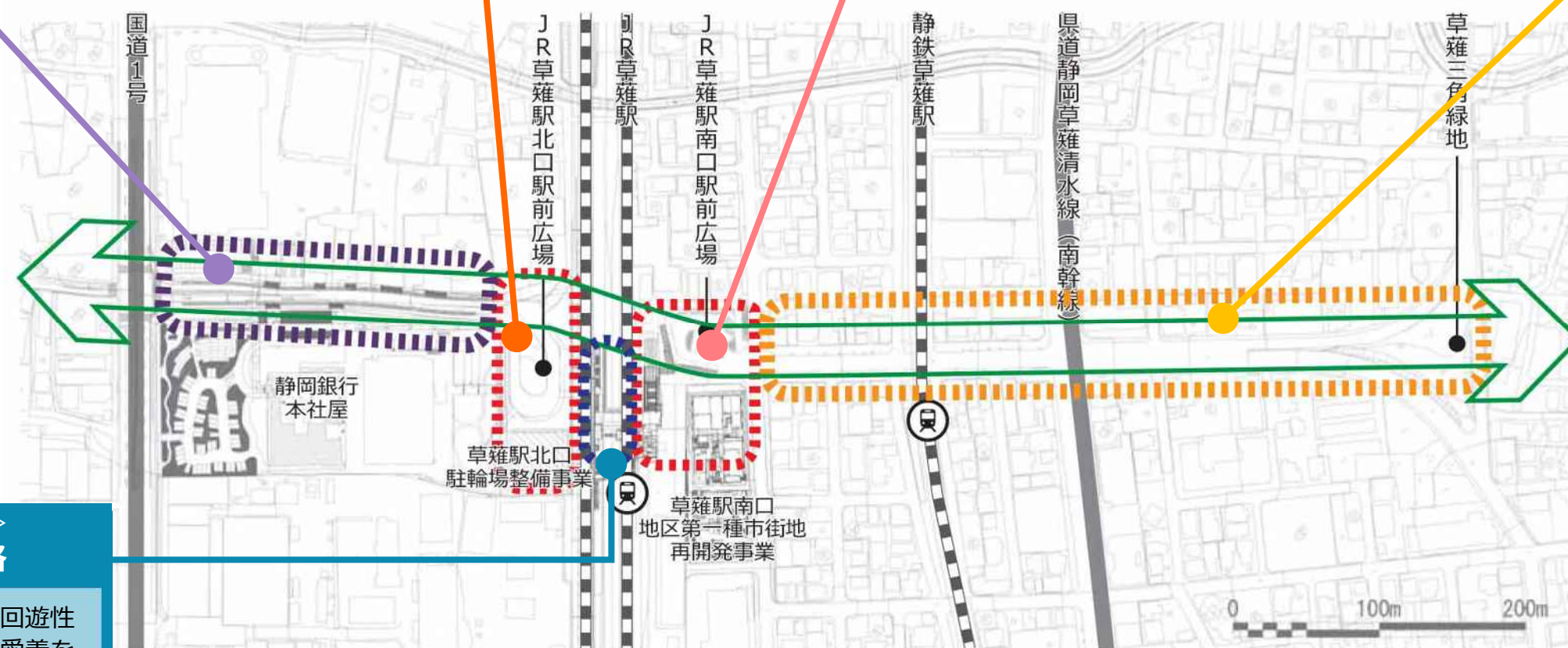
4. 草薙駅通沿道

草薙商店街から三角緑地に至るまでの沿道と連携し、にぎわいや歩行快適性を高め、**街並みの連続性の確保と道路空間を活用した歩きたくなる賑わい空間**を形成します。

<JR 草薙駅南北自由通路部分>

5. 草薙駅南北自由通路

地域の魅力を発信することで、まちの回遊性を高めるとともに、地元の方が草薙に愛着を持てるような、歴史や文化を大切にした**草薙らしさを感じる情報発信拠点**を目指します。



1. 草薙北口通線（国道1号線～草薙駅北口駅前広場入口まで）



空間づくりのコンセプト

道路の幅員に合わせ、豊かな緑と洗練されたデザインにより、連続的で開放的な、**地域の庭となるような道路空間**を形成し、交流機能をもたせた滞留空間を創出していきます。

[エリアの現況]

- ・草薙北口通線は、JR草薙駅と国道を新たにつなぐ幹線として、幅員14m（歩道幅員3.5m、車道幅員7m）として整備が進められています。西側沿道は静岡銀行新本部棟の新築工事が進められており、並木や壁面後退部分の緑化など「新しい草薙の顔」として、豊かで質の高い都市景観整備が推進されています。

[課題]

- **安全性・快適性の確保**
 - ・交通処理のための道路にならないよう、道路構成の中できちんと歩車分離を明確にし、豊かな歩行空間を確保することが求められます。
- **シンボル性の創出**
 - ・北口通線は新しく整備される空間であり、また北口エリアへの人々の流れを創りそこから新たな草薙のイメージを創出していく事が求められます。
- **沿道景観と一体性を持った空間づくり**
 - ・歩道部分と豊かで質の高い沿道の民地が一体となるような道路空間とし、通過するだけでなく滞留できる空間の確保が求められます。
- **南口および周辺と繋がる緑の軸づくり**
 - ・メインストリートとしての「緑の軸」及び周辺と繋がるような緑の空間確保が求められます。



[目指したい空間イメージ]

安全性・視認性の高い移動空間

徒歩・自転車・自動車・公共交通・JRなど、様々な「アクセス」が集約する地域ハブに必要な「空間快適性」を創出します。

- ゆとりある歩行空間（公開空地、ベンチ）の確保
- 自転車通行レーンの確保
- 統一感を感じさせる照明用要件の統一
- 安全性を向上させる歩道照明の設置

シンボル性の高い国道からの導入景観

これまでと大きく変わる草薙駅北口を象徴するような、シンボル性・誘目性の高いエントランスゲートを創出します。

- 外壁の色彩調和
- 歩道空間の舗装統一/セットバック部分の舗装統一
- 沿道へのベンチ等の設置

草薙の新たな魅力を創出する沿道景観

道路整備の進捗に合わせ今後想定される沿道土地利用の変化等を踏まえ、草薙の新しい都市景観を創出します。

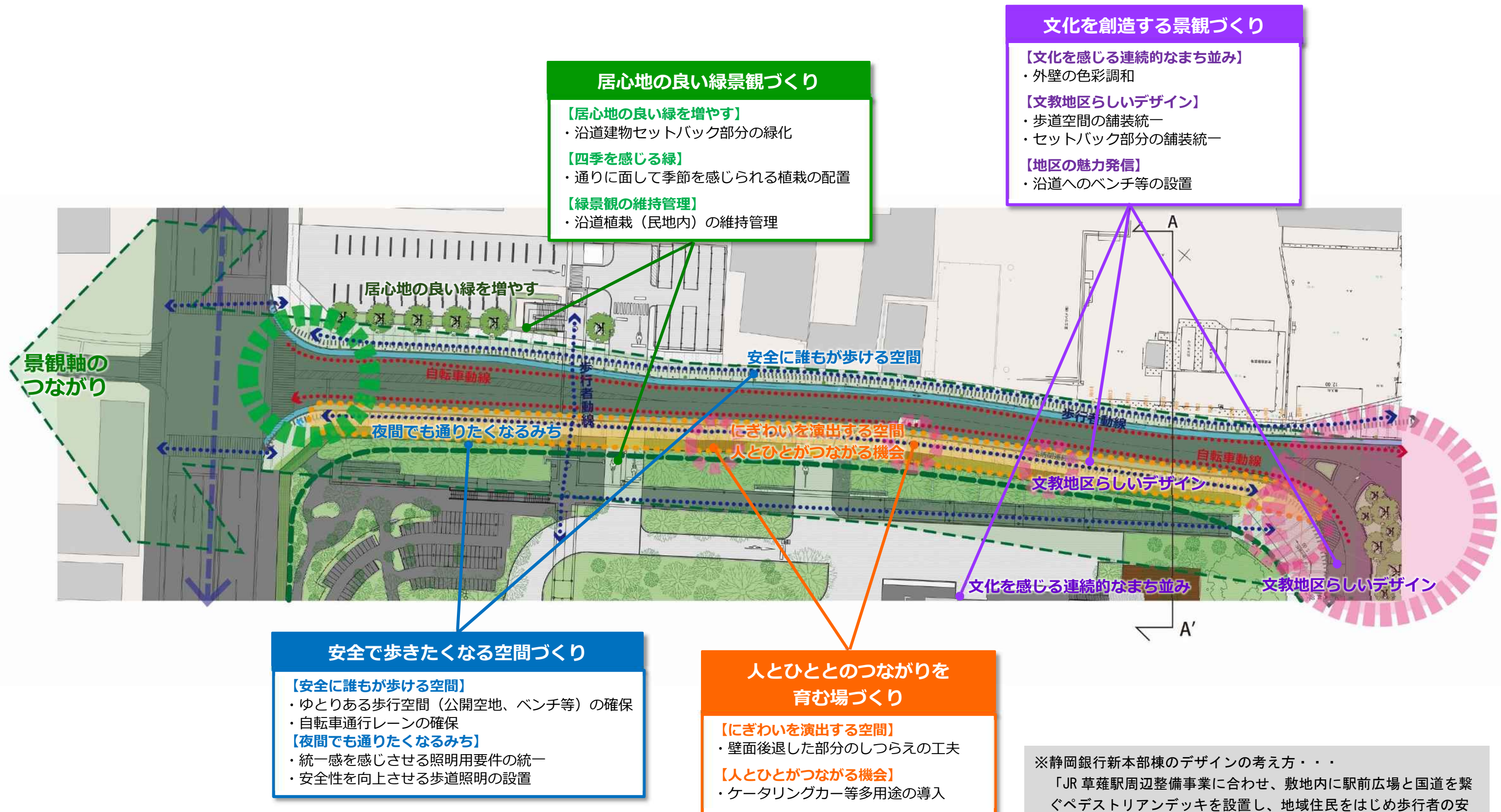
- 壁面後退した部分のしつらえの工夫
- ケータリングカー等多用途の導入

緑のネットワークづくりの推進

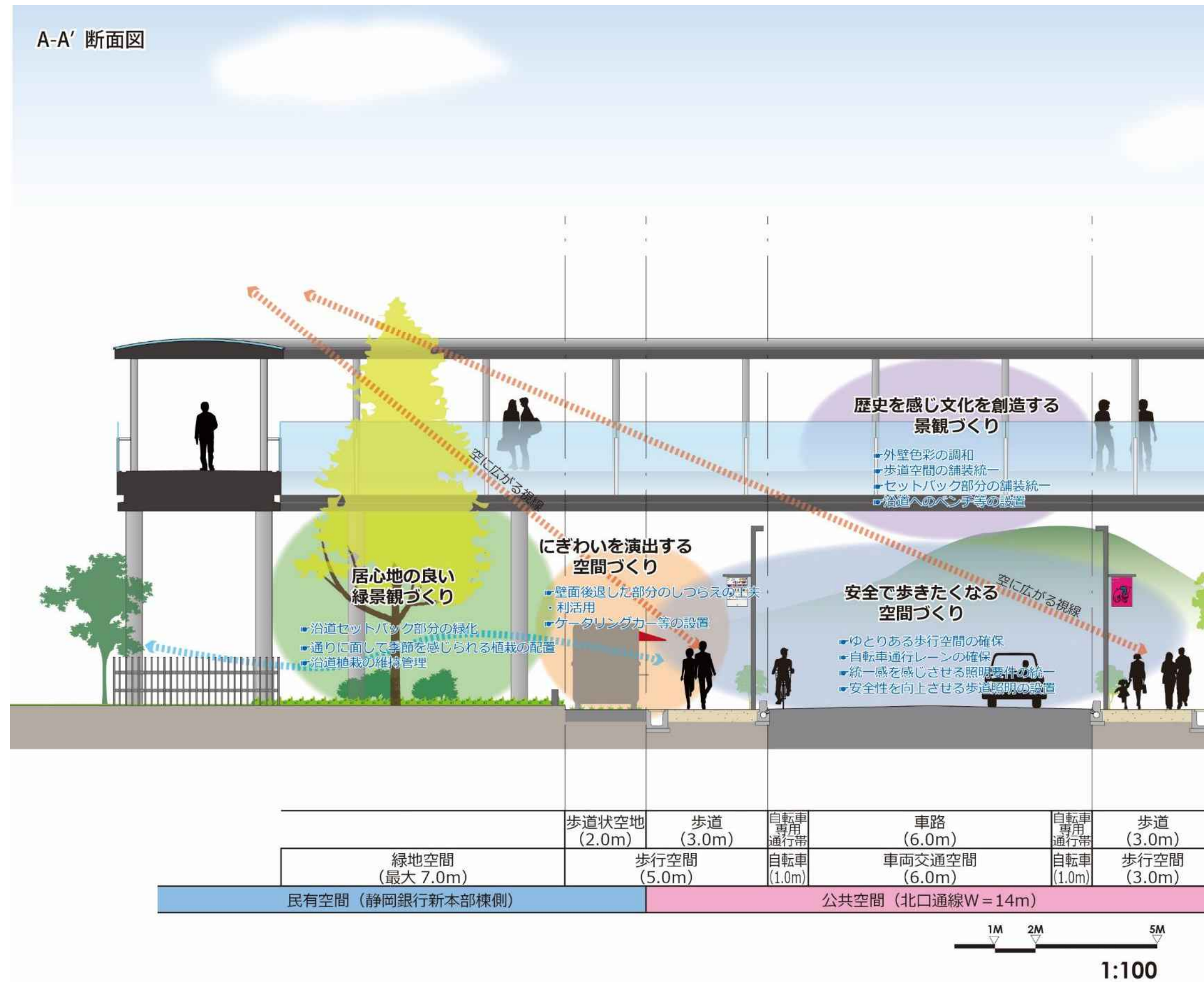
草薙地域のシンボルであり、駅南北を魅力的に演出する「緑の軸」を創出します。

- 沿道建物セットバック部分の緑化
- 通りに面して季節を感じられる植栽の配置
- 沿道植栽（民地内）の維持管理

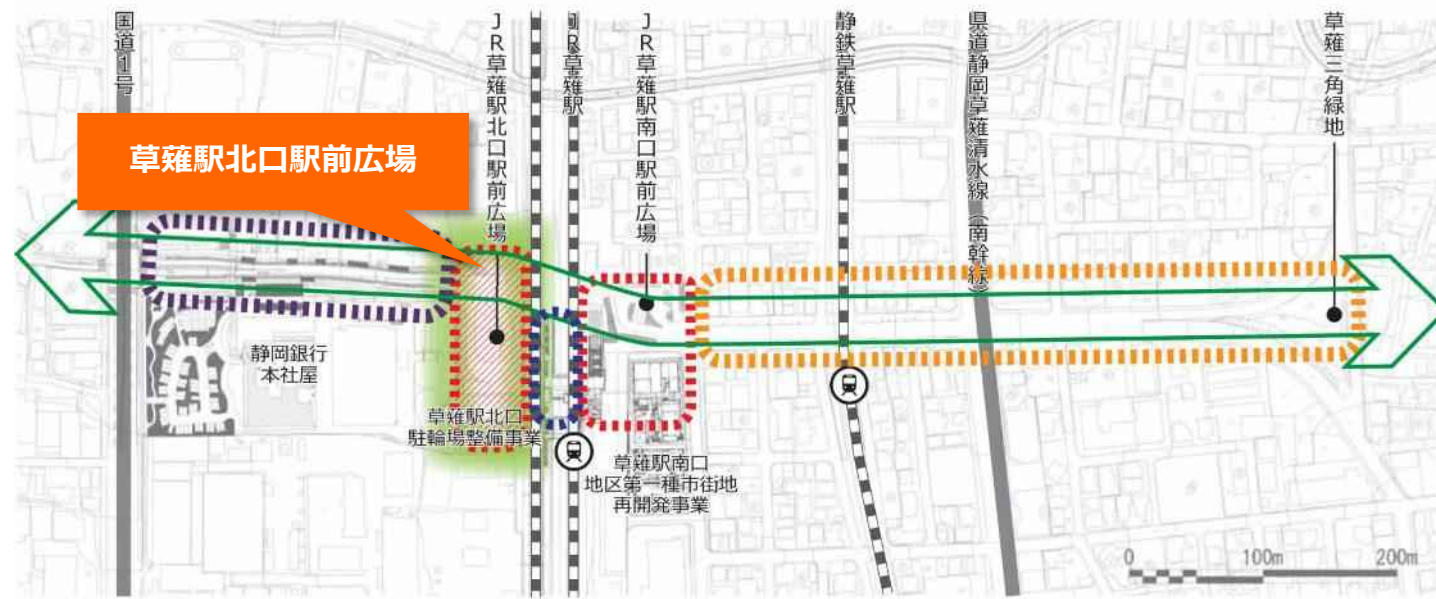
1. 草薙北口通線（整備イメージ）



1. 草薙北口通線（断面イメージ）



2. 草薙駅北口駅前広場（草薙駅北口駅前広場部分）



空間づくりのコンセプト

北口駅前広場の新設や駅舎改築・沿道大規模オフィスの開発と合わせ、北口地域へのゲートとして落ち着きある高質な空間を形成します。

【まちの現況】

- ・草薙駅北口駅前広場は、「草薙駅北口駅前広場」及び「北口通線」の新たな整備により、利便性が向上し周辺住民のみならず通勤・通学利用者や公共交通利用者など新たな駅利用者の増加が見込まれます。

【課題】

- **快適性・安全性に配慮した交通結節機能の強化**
 - ・草薙駅北側の玄関口として移動の起点となるような、まちの新たな交通結節点にふさわしい整備が求められます。交通処理のための駅前広場にならないよう、駅前広場の中で歩車分離や滞留と活動を明確にし、快適な駅前広場空間を創出することが求められます。
- **新たなシンボル空間づくり**
 - ・草薙駅北口は新設される空間となることから、新たな北側のシンボル空間として周辺建物と連携し特徴ある空間づくりが求められます。
- **北口における賑わいづくりの拠点づくり**
 - ・単なる交通結節点としての駅前広場ではなく、人々の活動の結節点となるよう、多用途に活用する事の出来る滞留と活動の空間が求められます。
- **南口および周辺と繋がる緑の軸づくり**
 - ・メインストリートの中心部として「緑の軸」と繋がるような多様な緑の空間確保が求められます。



【目指したい空間イメージ】

快適性・安全性に配慮した交通結節点にふさわしい環境整備

徒歩・自転車・自動車・公共交通・JRなど、様々な「アクセス」が集約する地域ハブに必要な「空間快適性」を創出します。

- ゆとりある歩行空間（公開空地、ベンチ等）の確保
- 自転車駐輪場の整備/自転車通行レーンの確保
- 身障者用、バス用のシェルター設置/景観に配慮したシェルターの設置
- シンボル性を感じさせる照明演出/周辺の景観に配慮した照明計画

草薙の新たな顔としてのシンボル空間の形成

これまでと大きく変わる草薙駅北口を象徴し、新たな空間価値を創出するような、景観形成を誘導します。

- 駅舎や沿道建物の外壁の色彩調和
- 歩道空間、駅広の舗装統一
- セットバック部分の舗装統一
- 駅周辺案内サインの設置
- 駐輪場周辺へのベンチ等の設置

サードプレイスとしての空間づくり

住民の方々からも、北口における賑わいづくり拠点が求められていることから、駐輪場の新設に合わせ、静銀の森との連続性が感じられる「憩い集える空間」を創出します。

- 壁面後退した部分のしつらえの工夫
- 地域のにぎわい創出施設の設置
- 高架下の利活用
- 駐輪場前へのオープンスペースの確保
- イベントの実施

緑のネットワークづくりの推進

草薙地域のシンボルであり、駅南北を魅力的に演出する「緑の軸」を創出します。

- 駅広への植栽/中央島状地（タクシープール等）への緑化ブロック設置
- 顔となる樹木の配置
- 沿道建物と協調し、季節を感じられる植栽の配置
- ロータリー、交通島、駅前広場の維持管理

2. 草薙駅北口駅前広場（整備イメージ）

安全で歩きたくなる空間づくり

【安全に誰もが歩ける空間】

- ・ゆとりある歩行空間（公開空地、ベンチ等）の確保
- ・自転車駐輪場の整備
- ・自転車通行レーンの確保
- ・身障者用、バス用のシェルター配置
- ・景観に配慮したシェルターの設置

【夜間でも通りたくなるみち】

- ・シンボル性を感じさせる照明演出
- ・周辺の景観に配慮した照明計画

文化を創造する景観づくり

【文化を感じる連続的なまち並み】

- ・駅舎や沿道建物の外壁の色彩調和

【文教地区らしいデザイン】

- ・歩道空間、駅広の舗装の統一
- ・セットバック部分の舗装統一

【地区の魅力発信】

- ・駅周辺案内サインの設置
- ・駐輪場周辺へのベンチ等の設置

景観軸の つながり

居心地の良い緑景観づくり

【居心地の良い緑を増やす】

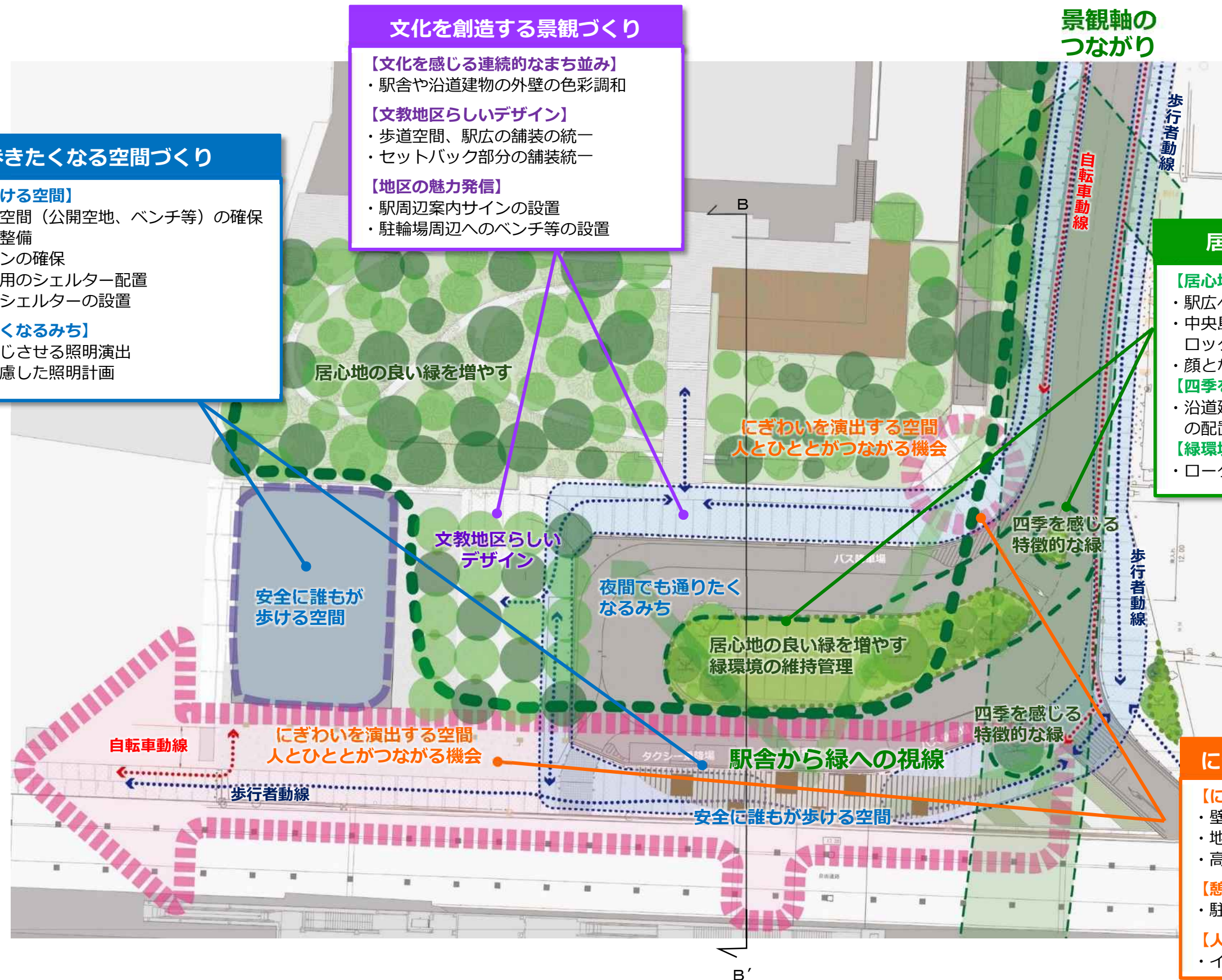
- ・駅広への植栽
- ・中央島状地(タクシープール等)への緑化ブロック設置
- ・顔となる樹木の配置

【四季を感じる特徴的な緑】

- ・沿道建物と協調し、季節を感じられる植栽の配置

【緑環境の維持管理】

- ・ロータリー、交通島、駅前広場の維持管理



にぎわいを演出する空間づくり

【にぎわいを演出する空間】

- ・壁面後退した部分のしつらえの工夫
- ・地域のにぎわい創出施設の設置
- ・高架下の利活用

【憩い集える場所】

- ・駐輪場へのオープンスペースの確保

【人とひととつながる機会】

- ・イベントの実施

2. 草薙駅北口駅前広場（植栽イメージ）

ポイント！

- ・民地内に整備予定のイチヨウ並木やボリュームのある緑を活かし、高木を植栽する。
- ・民地内には白系の花をつける樹種が多いため、サザンカなど鮮やかな花をつける樹種を植栽する。
- ・地域の特徴を出すため、ミカンなどの樹種を植栽する。

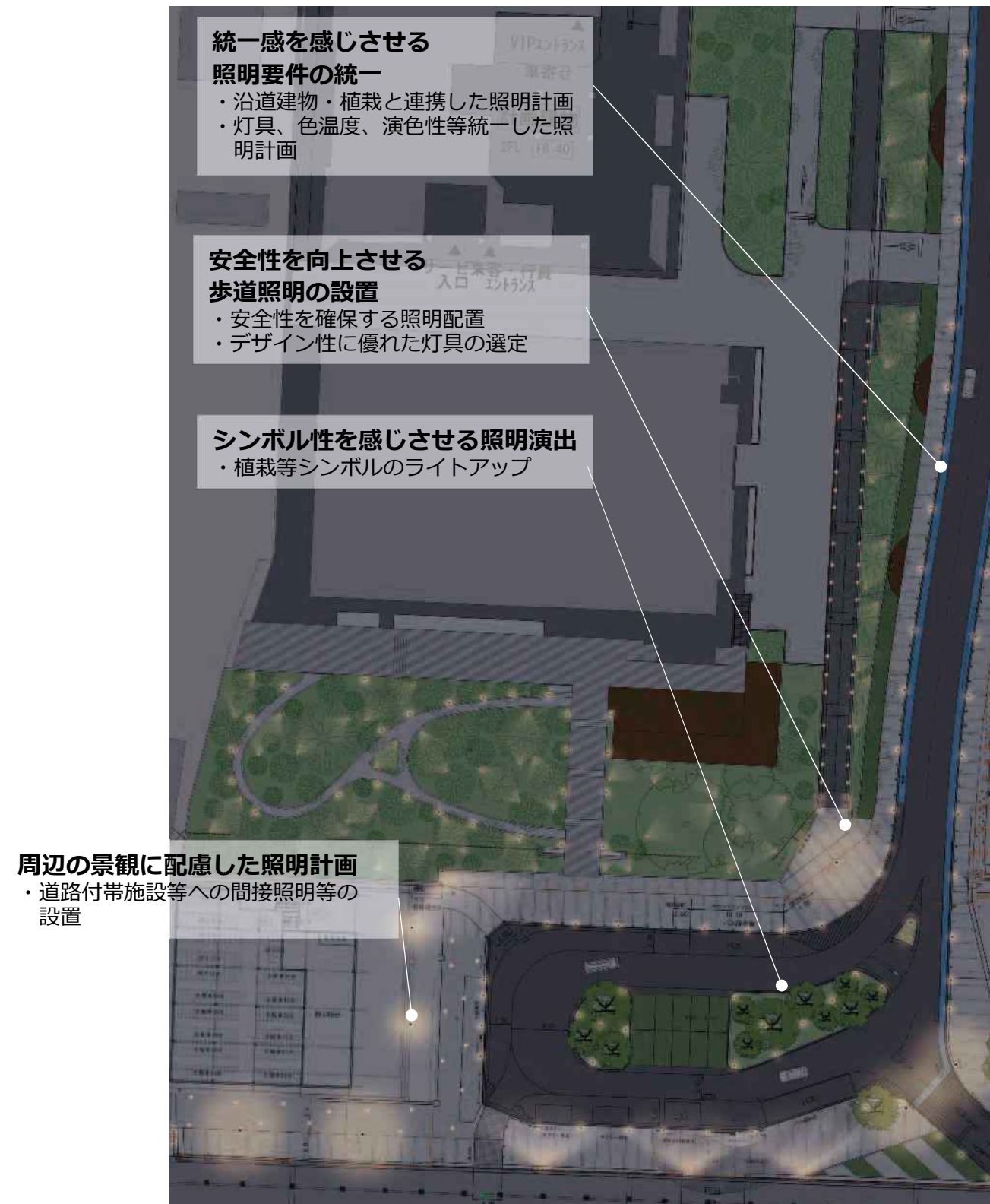


▼草薙駅北口

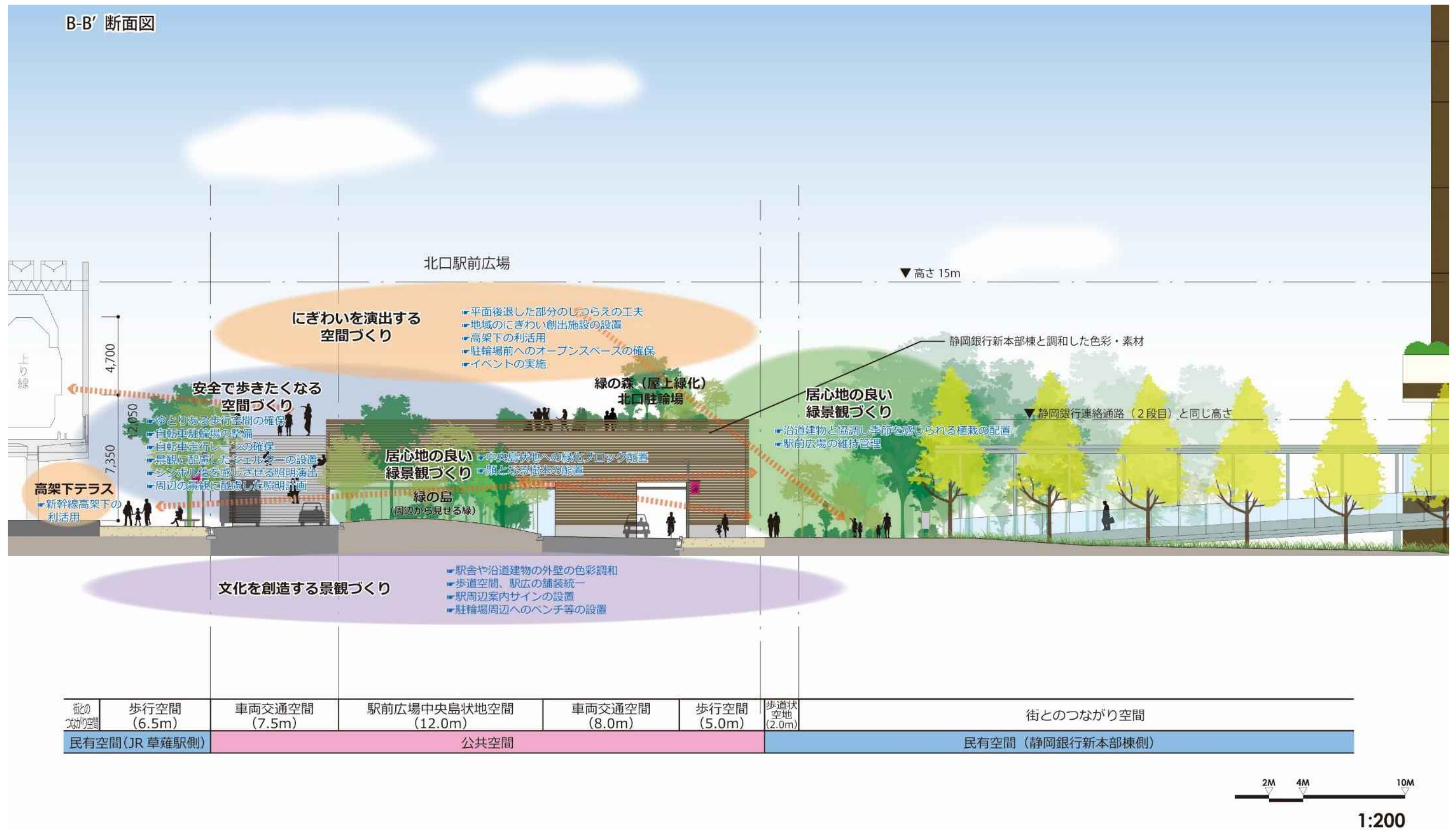
2. 草薙駅北口駅前広場（照明イメージ）

まちの構造が分かるような照明計画とします。

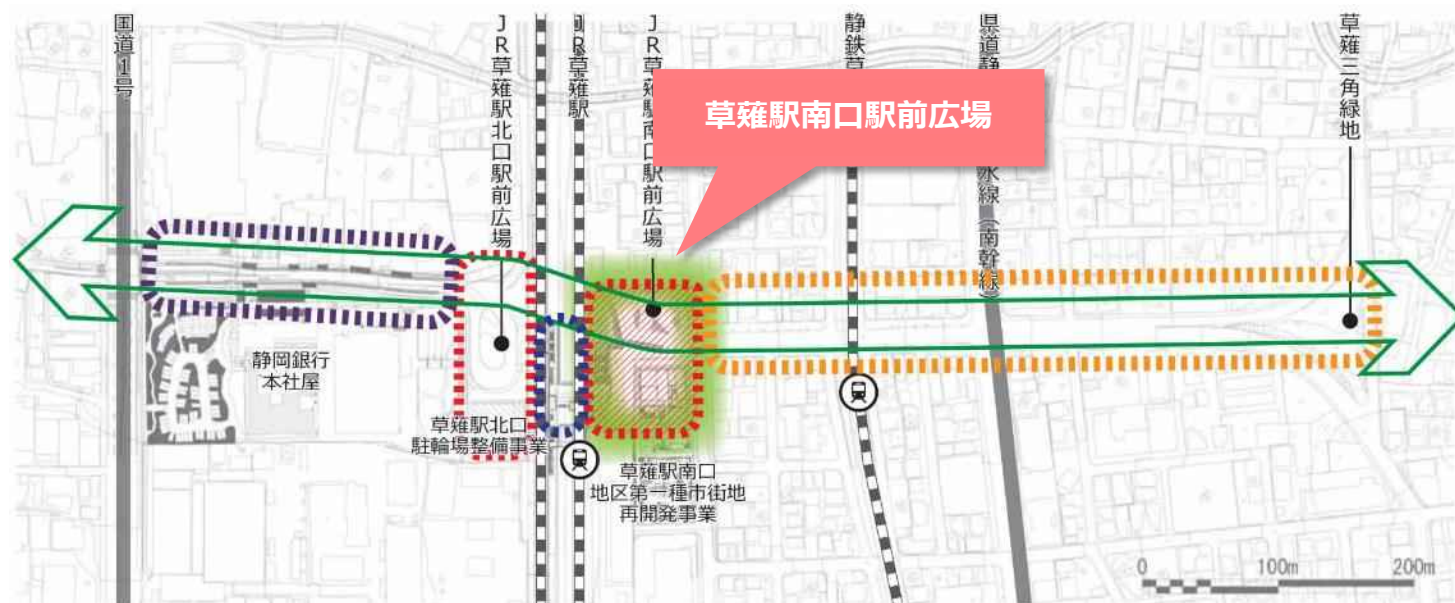
- ・経路の分岐点や横断歩道、歩道と車道の境界部分などが認識できるよう照明灯を配置します。



2. 草薙駅北口駅前広場（断面イメージ）



3. 草薙駅南口駅前広場（草薙駅南口駅前広場部分）



空間づくりのコンセプト

南口駅前広場の整備や駅舎改築・南口再開発事業等と合わせ、商店街や南口地域へつながる場所として、**賑わいを創出し人々が集い楽しめる空間**を形成します。

[まちの現況]

- ・草薙駅南口には草薙駅前商店街が隣接し、また静岡県立大学や静岡県立美術館等の最寄アクセス拠点となっていることから、地域の賑わい拠点となっています。
- ・南北自由通路の整備や駅前再開発事業により、居住者の増加及び新規店舗の出店、新たな駅利用者の増加等が見込まれます。

[課題]

● 快適性・安全性に配慮した交通結節機能の強化

- ・草薙地域が目指す「賑わい・交流・回遊性」の顔として、また、文教・業務・周辺商店街等へのアクセス拠点として、そして一日1万7千人を超える乗降客が利用する街の玄関口としてふさわしい交通結節機能の強化が求められます。

● 草薙駅南側の地区へと繋がる賑わい拠点としての機能強化

- ・交通機能だけでなく、賑わい拠点としての特色をより顕在化させ、街を訪れた人々が滞留し活動へ結び付け、それらがまち全体への賑わいへと波及させていく場の創出が求められます。

● 北口及び周辺と繋がる緑の軸づくり

- ・メイントリートの中心部として北口と連携し「緑の軸」と繋がるような多様な緑の空間確保が求められます。



[目指したい空間イメージ]

快適性・安全性に配慮した交通結節点にふさわしい環境整備

徒歩・自転車・自動車・公共交通・JRなど、様々な「アクセス」が集約する交通結節点として、必要な「空間快適性・安全性」を創出します。

- ゆとりある歩行空間（公開空地、ベンチ等）の確保
- 駐輪場への安全な動線確保
- 身障者用、バス用のシェルター設置/景観に配慮したシェルターの設置
- 安全性を向上させ、賑わいを演出する照明計画

サードプレイスとしての空間づくり

南側の商店街・文教エリア・文化エリアへと続く起点に必要な「移動利便性」を創出します。

- 駅舎や沿道建物の外壁の色彩調和
- 歩道空間、駅広の舗装統一/セットバック部分の舗装統一
- 駅周辺案内サインの設置
- 駐輪場周辺へのベンチ等の設置
- 壁面後退した部分のしつらえの工夫
- まちのにぎわいに繋がる店舗を推奨
- 多様に活用できる公共空間の確保
- エリアマネジメント法人による公共空間運営(イベント、マルシェ、ケータリングカーの利用促進等)

緑のネットワークづくりの推進

草薙地域のシンボルであり、駅南北を魅力的に演出する「緑の軸」を創出します。

- 南口再開発等大規模建築物への緑化
- 駅広への植栽
- 中央島状地（タクシープール等）への緑化ブロック設置
- 顔となる樹木の配置
- ロータリー交通島、駅前広場の維持管理
- 商店街と協調し、季節を感じられる植栽の配置

3. 草薙駅南口駅前広場（整備イメージ）

文化を創造する景観づくり

- 【文化を感じる連続的なまち並み】
 - ・駅舎や沿道建物の外壁の色彩調和
- 【文教地区らしいデザイン】
 - ・歩道空間、駅広の舗装統一
 - ・セットバック部分の舗装統一
- 【地区の魅力発信】
 - ・駅周辺案内サインの設置
 - ・植栽縁辺部へのベンチ等の設置

- ・ 駅舎や沿道建物の外壁の色彩調和

- ・ 駅舎や沿道建物の外壁の色彩調和

- ・歩道空間、駅広の舗装統一

- ・歩道空間、駅広の舗装統一
- ・セットバック部分の舗装統一

- ・ 駅周辺案内サインの設置
- ・ 植栽縁辺部へのベンチ等の設置

- ・ 駅周辺案内サインの設置
- ・ 植栽縁辺部へのベンチ等の設置

安全に誰もが
歩ける空間

安全で歩きたくなる空間づくり

- 【安全に誰もが歩ける空間】
 - ・ ゆとりある歩行空間（公開空地、ベンチ等）の確保
 - ・ 駐輪場への安全な動線確保
 - ・ 身障者用、バス用のシェルター配置
 - ・ 景観に配慮したシェルターの設置
- 【夜間でも通りたいくなるみち】
 - ・ 安全性を向上させ、賑わいを演出する照明計画

- ・ゆとりある歩行空間（公開空地、ベンチ等）の確保
- ・駐輪場への安全な動線確保
- ・身障者用、バス用のシェルター配置
- ・景観に配慮したシェルターの設置

- ・安全性を向上させ、賑わいを演出する照明計画

にぎわいを演出する空間づくり

- 【にぎわいを演出する空間】
 - ・壁面後退した部分のしつらえの工夫
 - ・まちのにぎわいに繋がる店舗を推奨
- 【憩い集える場所】
 - ・多様に活用できる公共空間の確保
- 【人とひととがつながる機会】
 - ・エリアマネジメント法人による公共空間運営（イベント、マルシェ、ケータリングカーの利用促進等）

- ・壁面後退した部分のしつらえの工夫
- ・まちのにぎわいに繋がる店舗を推奨

- ・壁面後退した部分のしつらえの工夫
- ・まちのにぎわいに繋がる店舗を推奨

- ・多様に活用できる公共空間の確保

- ### 【人とひととが繋がる機会】

- ・エリアマネジメント法人による公共空間運営
(イベント、マルシェ、ケータリングカーの利用促進等)

- ・エリアマネジメント法人による公共空間運営
(イベント、マルシェ、ケータリングカーの利用促進等)

居心地の良い緑景観づくり

- **【居心地の良い緑を増やす】**
 - ・南口再開発等大規模建築物への緑化
 - ・駅広への植栽
 - ・中央島(タクシープール等)への緑化ブロック設置
 - ・顔となる樹木の配置
- **【四季を感じる特徴的な緑】**
 - ・商店街と協調し、季節を感じられる植栽の配置
- **【緑環境の維持管理】**
 - ・ロータリー、交通島、駅前広場の維持管理

- ・南口再開発等大規模建築物への緑化
- ・駅広への植栽
- ・中央島(タクシープール等)への緑化ブロック設置
- ・顔となる樹木の配置

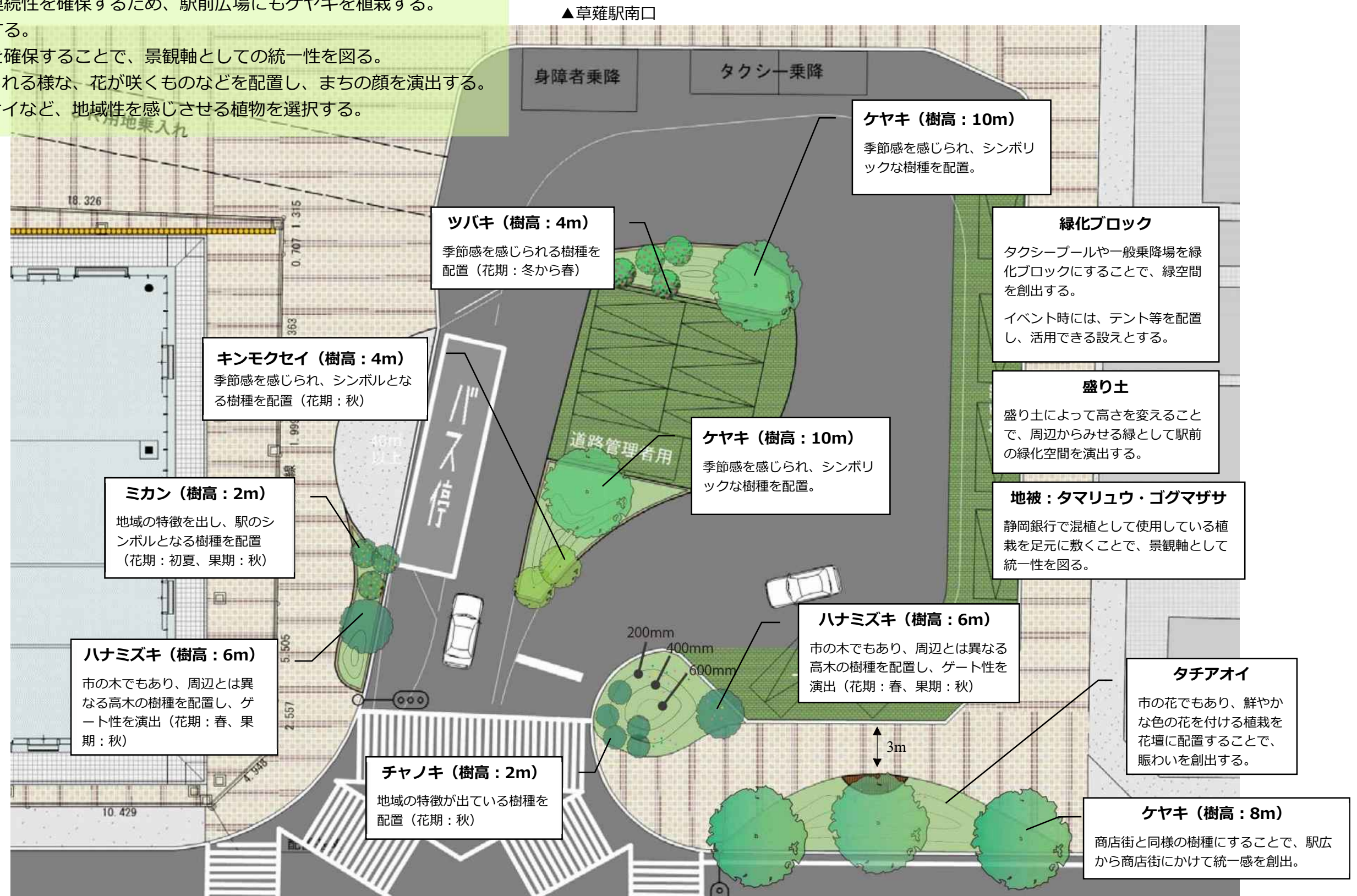
- ・商店街と協調し、季節を感じられる植栽の配置

- ・ロータリー、交通島、駅前広場の維持管理

3. 草薙駅南口駅前広場（植栽イメージ）

ポイント！

- ・ 駅前に繋がるケヤキ並木等との連続性を確保するため、駅前広場にもケヤキを植栽する。
- ・ アイスストップとなる高木を植栽する。
- ・ 北側の民地内の植栽との連続性を確保することで、景観軸としての統一性を図る。
- ・ 樹形が美しいものや季節を感じられる様な、花が咲くものなどを配置し、まちの顔を演出する。
- ・ 花壇には、市の花であるタチアオイなど、地域性を感じさせる植物を選択する。



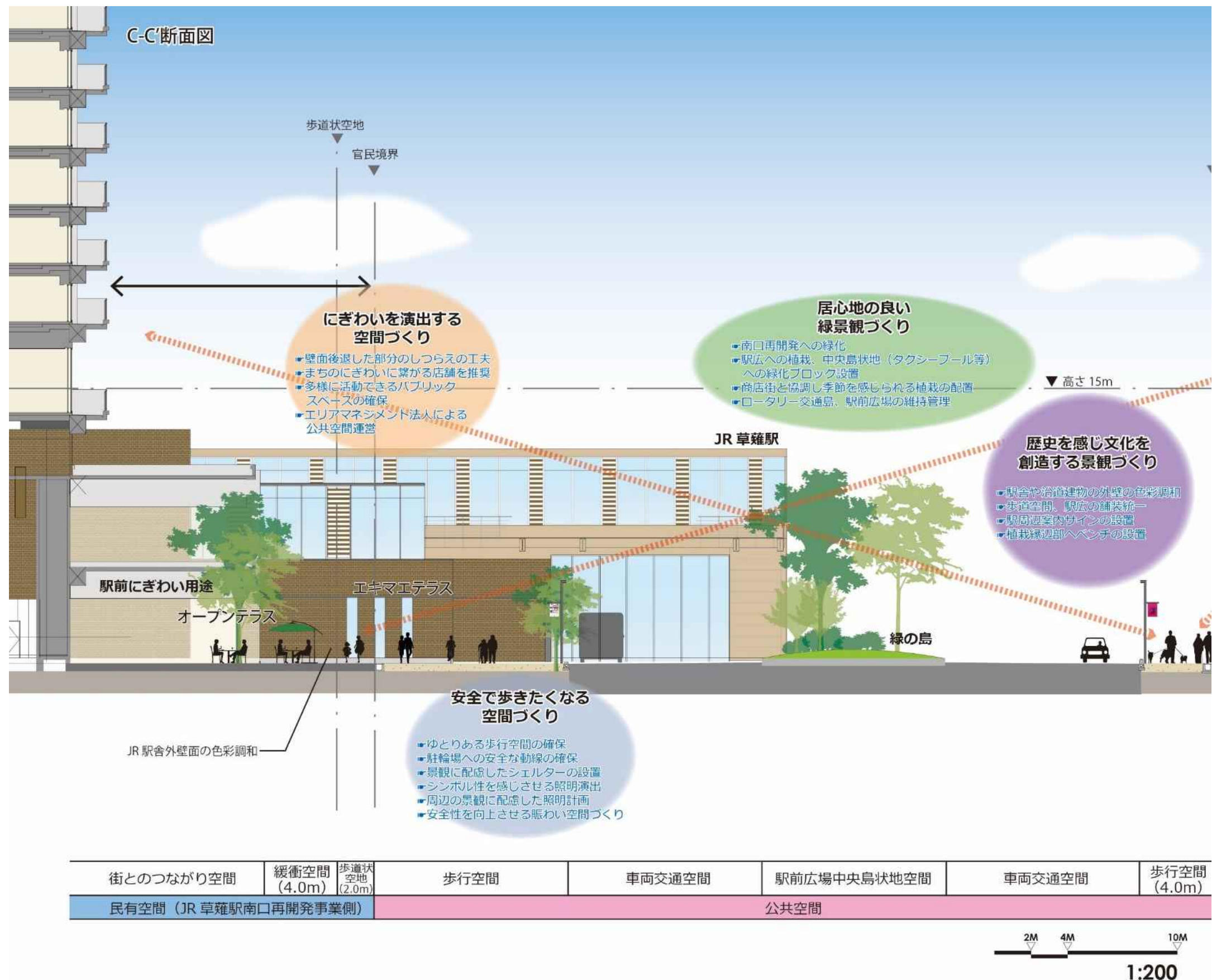
3. 草薙駅南口駅前広場（照明イメージ）

民地の建物と連携した照明配置とします。

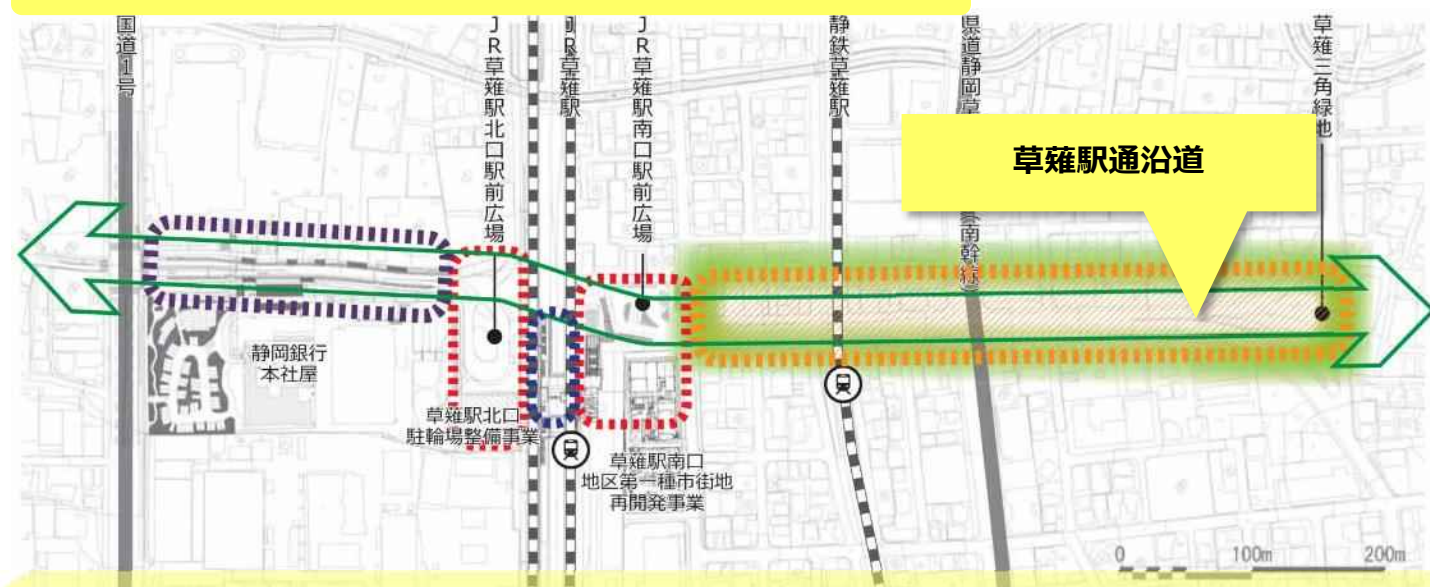
- ・民地内の建物の灯りを活かし、過剰な配置とならないように計画します。



3. 草薙駅南口駅前広場（断面イメージ）



4. 草薙駅通沿道（草薙駅前交差点～草薙三角緑地まで）



空間づくりのコンセプト

草薙商店街から三角緑地に至るまでの沿道と連携し、にぎわいや歩行快適性を高め、**街並みの連続性の確保と道路空間を利活用した歩きたくなる賑わい空間**を形成します。

[まちの現況]

- ・草薙駅から三角緑地までの草薙駅通沿道（延長約 385m）は、草薙商店街を形成しており、住民はもちろん、JR と静岡鉄道の乗り換え客や静岡県立大学へ移動する学生など多様な利用者が往来する草薙駅周辺地区の重要な「にぎわい軸」となっています。

[課題]

●安全性に配慮した道路空間の整備

- ・歩行者や自転車、自動車など駅にアクセスする多様な利用者が往来する草薙駅通沿道では、利用者の安全性を確保した道路空間の整備が求められます。

●魅力的な歩行空間の創出

- ・子どもから高齢者の方まで多様な方が行き交う、生活を支える商店街空間として、歩きやすい利用しやすい歩行者空間の創出が求められています。

●沿道景観の整備

- ・草薙駅から有度山へ向けて緩やかな坂となっている商店街空間は、景観軸として象徴的な空間ともなることから、沿道の連続性に配慮した景観整備が求められています。

●メインストリート空間を印象付ける緑の軸づくり

- ・現在整備されている並木や花壇空間などを緑の軸とするため、既存の緑空間の維持管理や新たな緑の空間確保が求められています。



[目指したい空間イメージ]

安全性・視認性の高い移動空間

徒歩・自転車・自動車・公共交通・JRなど、様々な「アクセス」が集約する軸に必要な「空間安全性」を創出します。

- 自転車通行レーンの確保
- 歩道空間の舗装整備・統一
- 沿道商店からこぼれるあかりの統一

沿道商業の魅力を高める歩行空間

駅前商店街として、行きやすく買い物しやすい、魅力ある「歩行空間」を創出します。

- 店先へのベンチ等の設置
- 壁面後退部分のしつらえの工夫
- 商店街の歩道占用によるイベントの実施
- 既存の公共空間の積極的な利活用
- まちのにぎわいに繋がる店舗を推奨
- 三角緑地における活動

にぎわいと美観を連続させる沿道景観

JR 草薙駅前からのびる賑わいの中心軸として、道路空間を活用した活動の誘発、連続する建物や賑わい用途誘導、店先の創り方など「沿道景観の連続性」を創出します。

- 外壁の色彩調和
- 屋外広告物の色彩制限
- 看板・屋外広告物の掲出ルールづくりなど
- オーニングテント設置等、しつらえの工夫

緑のネットワークづくりの推進

草薙地域のシンボルであり、駅南北を魅力的に演出する「緑の軸」を創出します。

- 商店街の店前空間等を活用した植栽設置
- 商店街沿道への花壇・街路樹の設置
- 景観軸を感じさせる高木、季節の変化を感じられる草花の植栽
- 商店街沿道花壇の維持管理
- 三角緑地の維持管理

4. 草薙駅通沿道（整備イメージ）

文化を創造する景観づくり

【文化を感じる連続的なまち並み】

- ・外壁の色彩調和
- ・屋外広告物の色彩制限

【文教地区らしいデザイン】

- ・歩道空間の舗装整備・統一

【地区の魅力発信】

- ・看板、屋外広告物の掲出ルールづくりなど
- ・店先へのベンチ等の設置

居心地の良い緑景観づくり

【居心地の良い緑を増やす】

- ・商店街の店前空間等を活用した植栽設置
- ・商店街沿道への花壇・街路樹の設置
- ・生垣の整備やプランターの設置

【四季を感じる特徴的な緑】

- ・景観軸を感じさせる高木、季節の変化を感じられる草花の植栽

【緑環境の維持管理】

- ・商店街沿道花壇の維持管理
- ・三角緑地の維持管理



安全で歩きたくなる空間づくり

【安全に誰もが歩ける空間】

- ・壁面後退部分のしつらえの工夫
- ・自転車通行レーンの確保

【夜間でも通りたくなるみち】

- ・沿道商店からこぼれるあかりの統一

にぎわいを演出する空間づくり

【にぎわいを演出する空間】

- ・オーニングテントの設置等、しつらえの工夫
- ・まちのにぎわいに繋がる店舗を推奨

【憩い集える場所】

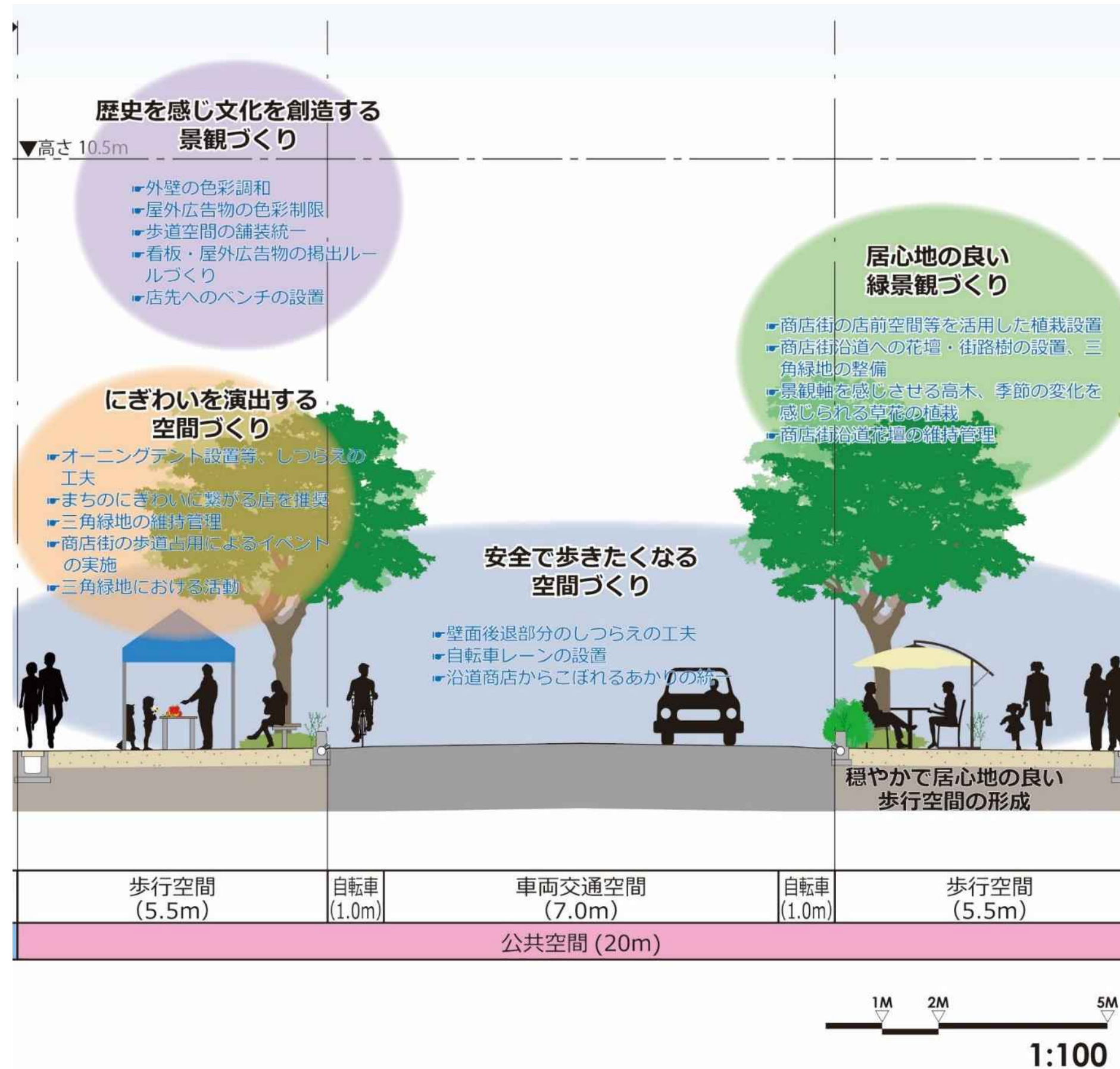
- ・既存の公共空間の積極的な利活用

【人とひととつながる機会】

- ・商店街の歩道占用によるイベントの実施
- ・三角緑地における活動

4. 草薙駅通沿道（断面イメージ）

D-D'断面図



5. 草薙駅南北自由通路（JR 草薙駅南北自由通路部分）



空間づくりのコンセプト

地域の魅力を発信する空間とすることで、まちへの回遊性を高めるとともに、地元の方が草薙に愛着を持てるような、**歴史や文化を大切にした草薙らしさを感じる情報発信拠点**を目指します。

[まちの現況]

- ・草薙駅南北自由通路は、南北の分断解消に寄与し、まちなかの回遊性向上に影響を与える重要な施設であるとともに、草薙をアピールする重要な「情報発信拠点」になり得ます。また、「南北自由通路」の整備により、駅南北の歩行者交通の円滑化及びバリアフリーに配慮した空間形成が図られ、街が一体となり、より一層の利用度向上が期待されています

[課題]

●南北の分断解消による利便性の向上と快適性の確保

- ・今まで鉄道路線によって分断されていた駅の南北を繋げる空間として、誰もが利用しやすい空間の整備が求められています。

●情報発信拠点としての空間整備

- ・観光客・来街者などへの案内板や地域のイベントの案内等の情報発信をする場所が不足していることから、情報発信スペースを確保し、街への回遊性へとつなげる空間として整備することが求められています。

●草薙を印象付ける空間整備

- ・他の駅や他地区との差別化を演出し、草薙ならではの歴史や風土を印象付ける空間整備が求められています。



[目指したい空間イメージ]



快適性・安全性に配慮した環境整備

南北を繋げる空間として、子どもや高齢者、障がい者、街を初めて訪れた方などすべての人が利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した空間とします。

- ユニバーサルデザインに配慮した歩行空間の確保
- 安全性に配慮した照明配置

まちの賑わいづくりに寄与する観光客・来街者に向けた情報発信

イベントや地元活動の情報発信を行う事で、活動を促進し、まちへの回遊性を創出することで、街全体の賑わいを生み出す空間を目指します。

- 観光客・来街者などへの一元的な情報発信
- イベントや地元活動の発信スペースの確保

地域への愛着を高めるまちの顔づくり

南北自由通路を利用する方や草薙に住む方々が、地元に対して愛着を持てるよう、**歴史や文化を大切にした草薙らしい空間を創出します。**

- 歴史文化を感じられるしつらえや色彩の統一
- 地域サークル活動等の紹介、展示スペースの確保

5. 草薙駅南北自由通路（整備イメージ）

文化を創造する景観づくり

【文化を感じる連続的なまち並み】

- ・歴史文化を感じられるしつらえや色彩の統一

【地区の魅力発信】

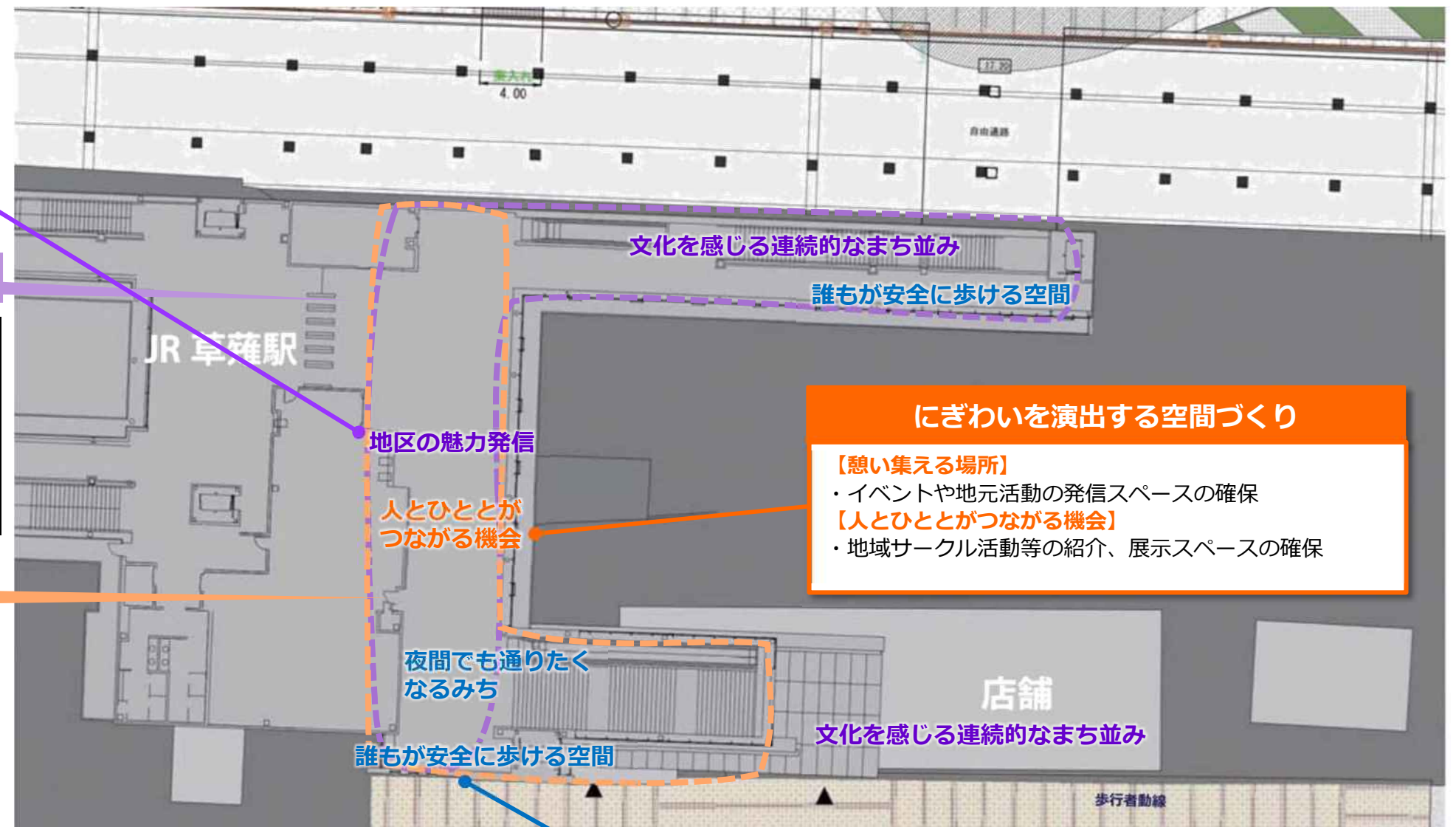
- ・観光客・来街者などへの一元的な情報発信

落ち着き、風格のあるまちづくりに寄与する案内・展示

展示内容	展示方法
1.駅北側に位置する主要施設(常葉大学、静岡サレジオ、静岡銀行等)や地域資源の案内	・案内看板
2.草薙駅北側の催事等の案内	・掲示板
3.地域のサークル活動等、文化を育てる活動の 掲示スペース等	・掲示板 ・展示ブース

まちの賑わいづくりに寄与する案内・展示

展示内容	展示方法
4.草薙駅南側に位置する主要施設(県立美術館、 県立大学、草薙商店街、草薙神社等)の案内	・フラッグ
5.草薙駅南側の催事等の案内	・案内看板 ・実物展示 ・デジタルサイネージ ・窓面を活用した展示



にぎわいを演出する空間づくり

【憩い集える場所】

- ・イベントや地元活動の発信スペースの確保

【人とひととがつながる機会】

- ・地域サークル活動等の紹介、展示スペースの確保

安全で歩きたくなる空間づくり

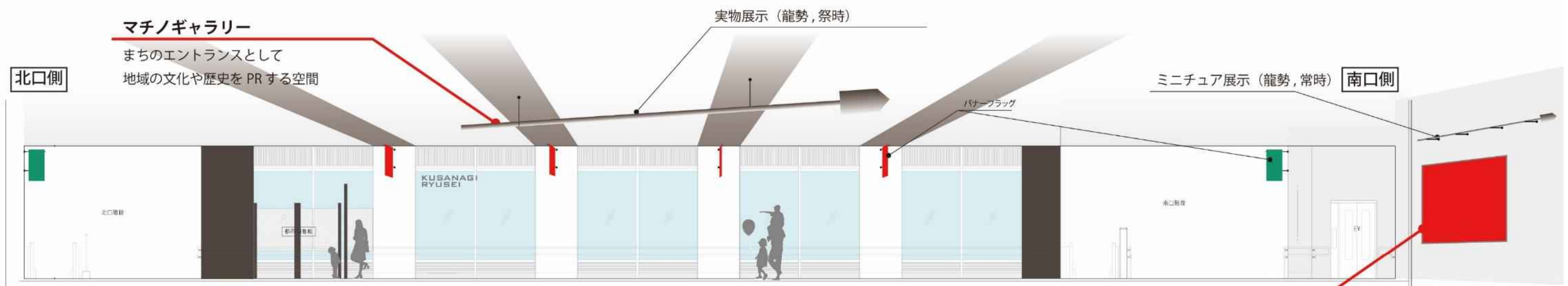
【安全に誰もが歩ける空間】

- ・ユニバーサルデザインに配慮した歩行空間の確保

【夜間でも通りたくなるみち】

- ・安全性に配慮した照明配置

5. 草薙駅南北自由通路（整備イメージ[南北方向東面・西面]）



マチノギャラリー
 広告 (約 H1800mm×W2,638mm) ×1 か所
 龍勢等の PR スペース。

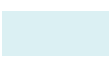
■南北自由通路（南北方向 西面）



②エリア別整備イメージまとめ

・官民が連携して、草薙らしい景観づくりのために取り組んでいきましょう。

基本的な考え方	居心地の良い緑景観づくり			歴史を感じ文化を創造する景観づくり			安全で歩きたくなる空間づくり				にぎわいを演出する空間づくり					
	居心地の良い緑を増やす		四季を感じる特徴的な緑	緑環境の維持管理	文化を感じる連続的まち並み	文教地区らしいデザイン	地区の魅力発信		安全に誰もが歩ける空間			夜間でも通りたくなるみち	にぎわいを演出する空間		憩い集える場所	人とひととがつながる機会
草薙北口通線	沿道建物セットバック部分の緑化	—	通りに面して季節を感じられる植栽の配置	沿道植栽（民地内）の維持管理	外壁の色彩調和	歩道空間の舗装統一/セットバック部分の舗装統一	—	沿道へのベンチ等の設置	ゆとりある歩行空間（公開空地、ベンチ等）の確保	自転車通行レーンの確保	—	統一感を感じさせる照明要件の統一/安全性を向上させる歩道照明の設置	壁面後退した部分のしつらえの工夫	—	—	ケータリングカー等多用途の導入
草薙駅北口駅前広場	—	駅広への植栽/中央島状地（タクシープール等）への緑化ブロック設置/顔となる樹木の配置	沿道建物と協調し、季節を感じられる植栽の配置	ロータリー、交通島、駅前広場の維持管理	駅舎や沿道建物の外壁の色彩調和	歩道空間、駅広の舗装統一/セットバック部分の舗装統一	駅周辺案内サインの設置	駐輪場周辺へのベンチ等の設置	ゆとりある歩行空間（公開空地、ベンチ等）の確保	自転車駐輪場の整備/自転車通行レーンの確保	身障者用、バス用のシエルター設置/景観に配慮したシエルターの設置	シンボル性を感じさせる照明演出/周辺の景観に配慮した照明計画	壁面後退した部分のしつらえの工夫	地域のにぎわい創出施設の設置/高架下の利活用	駐輪場前へのオープンスペースの確保	イベントの実施
草薙駅南口駅前広場	南口再開発等大規模建築物への緑化		商店街と協調し季節を感じられる植栽の配置					植栽縁辺部へのベンチ等の設置		駐輪場への安全な動線確保		安全性を向上させ、賑わいを演出する照明計画		まちのにぎわいに繋がる店舗を推奨	多様に活用できる公共空間の確保	エリアマネジメント法人による公共空間運営（イベント、マルシェ、ケータリングカーの利用促進等）
草薙駅通沿道	商店街の店前空間等を活用した植栽設置/生垣の整備やプランターの設置	商店街沿道への花壇・街路樹の設置	景観軸を感じさせる高木、季節の変化を感じられる草花の植栽	商店街沿道花壇の維持管理/三角緑地の維持管理	外壁の色彩調和/屋外広告物の色彩制限	歩道空間の舗装整備・統一	看板・屋外広告物の掲出ルールづくりなど	店先へのベンチ等の設置	壁面後退部分のしつらえの工夫	自転車通行レーンの確保	—	沿道商店からこぼれるあかりの統一	オーニングテント設置等、しつらえの工夫	まちのにぎわいに繋がる店舗を推奨	既存の公共空間の積極的な利活用	商店街の歩道占有によるイベントの実施/三角緑地における活動
草薙駅南北自由通路	—	—	—	—	歴史文化を感じられるしつらえや色彩の統一	—	観光客・来街者などへの一元的な情報発信	—	ユニバーサルデザインに配慮した歩行空間の確保	—	—	安全性に配慮した照明配置	—	—	イベントや地元活動の発信スペースの確保	地域サークル活動等の紹介、展示スペースの確保

：公共空間で取り組むこと ：民有地空間で取り組むこと ：双方で取り組むこと